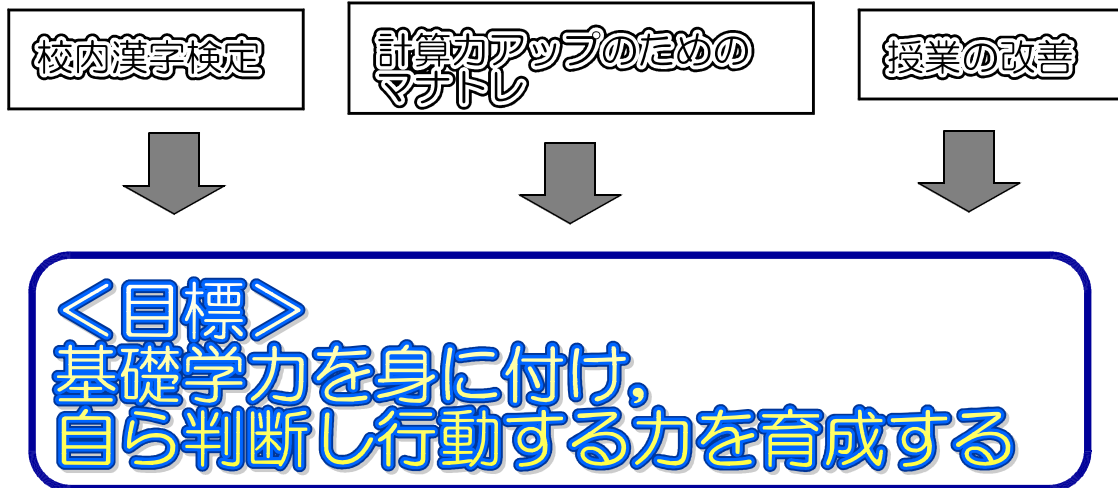


平成25年度 三好高等学校：「学力・学習状況」改善プラン（概要版）

○学力について



＜具体的方策＞

1. 校内漢字検定について
 - ・校内漢字検定の意義を理解させる。
 - ・授業，ショートホームルーム，放課後，長期休業等を活用して，校内漢字検定に関する指導回数を増やし，学校全体で取り組む。
 - ・練習プリント等教材の工夫を図る。
 - ・校内漢字検定の目標とする級に合格していない生徒に対して補講を行う。
2. マナトレについて
 - ・週1回朝のショートホームルーム後の25分間をマナトレの時間とする。担任を中心に各ホームルーム2～3名の教員が指導にあたる。問題の解き方を説明した上で，個別指導にあたる。
 - ・過去の問題を「日々の計算プリント」で毎日復習させる。
 - ・長期休業中に復習課題をさせる。
3. 授業の改善について
 - ・授業は原則公開とし，教員間で工夫した授業のあり方について共有し，授業改善に努める。
 - ・授業力向上に関しての研究授業・研修会を各教科年1回以上実施する。また，特別支援教育についての全体研修会も年1回行うと共に，ケース会議や教科会を通して個々の生徒の指導について共通理解を図る。
 - ・出張の精選を行い，授業時数の確保に努める。
 - ・毎月1回の「読書の日」に，全校生徒に担当教員が選んだ文章を読ませる。選定した意図を説明することで，生徒の興味・関心をひく。

○学習状況について

授業の欠課時数を減らす

授業に集中させる

<目標>
授業を通し、学習習慣を確立させる

<具体的方策>

1. 欠課時数を減らす。

- ・遅刻が多い生徒に対して改善指導を行う。
- ・授業の欠課における補講は、可能な限り学校で実施する。
- ・長期休業中に生活記録をつけさせ、生活リズムが崩れないようにする。

2. 授業に集中させる。

- ・落ち着いて授業に取り組めるよう学習環境を整える。
- ・積極的に授業に参加できるよう教材を工夫する。
- ・学習内容が、生活の中でどのように活用されるかについて理解させ、授業への興味・関心を持たせる。(2年)
- ・個々の進路と結びつけることで意識を高めるとともに、社会人としてのマナー、心構えについても理解させる。(3年)

○進路について

<目標>
・進路の達成率を100%にする。
・2年生の進路希望調査において、未決定者を0にする。